

環境報告書

'18.6.22

総務部

部長
'18.6.22
高木

2017年度の実績

1. 環境方針、環境目的及び目標の達成状況と順守評価

1) 法的及びその他の要求事項の順守評価の結果

(1) 公害防止協定の測定・報告⇒計画通り実施、問題無い事を報告済み

(2) 環境特定施設の届出⇒洗浄機(新規9台、廃却2台)実施

(3) 行政への報告⇒特になし

(4) 重要な環境側面の管理

・し尿浄化槽、構内放送、エアコン、排風機、切屑ホッパー、調整池、油倉庫、コンプレッサー、オイルコン高周波焼入れタンク、焼入れ機、洗浄機、高速切断機、高速切断機、せん断機他⇒異常なし

2) 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション(別紙 わが町日進とのふれあい参照)

(1) 地域住民との融和

① 学童通学時の交通安全指導・・・ゼロの日に年間20回実施

② 工場見学等の受入れ・・・職場体験学習日進東中7名(女子2名)、日進北中4名受入れ

③ 工場周辺清掃・・・毎月1回、年間12回実施

④ 地域イベントへの参加・・・日進市わいわいフェスティバル参加、日進市ごみゼロ運動に参加他



(2) 利害関係者からの苦情⇒特になし

3) 環境パフォーマンス・目的及び目標の達成状況(別紙 CO2削減への取組み参照)

(1) 使用エネルギーの削減

・・・動力費は目標達成したが、新規プロジェクトラッシュにより全体の電気使用が増加し、目標未達⇒APW推進会議にてウォッチする

(2) 資源の節約

・・・器具備品費等目標達成、修繕費目標未達⇒次年度達成する

(3) 廃棄物の削減とリサイクルの拡大

・・・更液増加、人員増加によりゴミ、廃油目標未達⇒次年度達成する

(4) システムの有効性確認

・・・内部監査を1度(12月)実施し指摘事項全25件に対し是正処置実施

(5) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ実施

(6) 改善のための提案

・・・日々のトップマネジメントでフォロー実施

(7) その他(方針、目的・目標の変更等)・・・特になし

次年度への課題

1. 環境マネジメントシステムの妥当性・有効性

・・・法規制の順守、苦情ゼロへの継続的な取組み

CO2排出量の目標達成のために、省エネ管理を強化する

2. 継続的改善の機会

・・・新規プロジェクトの製造原価、特に品質ロスコストの低減に集中する
トップミーティングによりクレーム・加工不良対策を推進する

3. 資源を含むEMS変更の必要性

・・・新規プロジェクトの為の工数不足が想定される

アウトソーシングを含め中途採用、派遣社員の増員にて対応する

4. 環境目標の達成

・・・CO2排出量の目標達成のために、省エネ管理を強化する
コンプレッサーやエアコンなど省エネタイプ設備の導入を推進する

5. 戦略的な方向性

・・・「7つの戦略」をもって経営課題の解決し、企業体質強化を図る

①生産技術の進化②自動化技術の確立③高付加価値事業の拡大

④コストハーフで収益力の向上⑤自工程完結⑥納期管理システムの構築

⑦自己変革を18年度の7つの戦略とする

2018年度の計画

1. 生産性の向上

・・・生産性5%向上

2. 法規制の順守

・・・「届出」「報告」「測定」「許認可」業務の順守

3. 重要な環境側面の管理

・・・水質汚濁・騒音・廃棄物処理等の日常管理充実

4. 使用エネルギーの削減

・・・動力費2%低減、CO2の排出量削減

5. 資源の節約・廃棄物の削減

・・・工具消耗品費、修繕費、器具部品費予算達成

・・・廃油・ごみ5%削減

6. 地域社会との融和

・・・地域社会行事への積極的な参加

とし、具体的には各部署のAPW計画にて明確にする

以上